

2年生授業シラバス

教育課程表 1

(令和4年度入学生)

共通教科に関する科目 2

専門科目に関する科目 9

(商業)

ビジネス科2年 (令和4年度入学生)

マーケティング フィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
論理国語	公共	数学A	生物基礎	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	総合実践	マーケティング	商品開発と流通	簿記	情報処理	HR																

アカウンティング フィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
論理国語	公共	数学A	生物基礎	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	総合実践	簿記	財務会計Ⅰ	原簿計算	情報処理	HR																

アドミニストレータ フィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
論理国語	公共	数学A	生物基礎	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	総合実践	簿記	情報処理	ソフトウェア活用	プログラミング	HR																

論理国語

教科	国語	単位数	2	学科・学年	ビジネス科 2年生
使用教科書	新編論理国語（東京書籍）				
副教材等	常用漢字の1・2トライ（浜島書店）		国語常識ベーシック（数研出版）		

◇ 科目の目標 ◇

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広がる風景 ・ 考える手がかり ・ 人間と知性 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。 ・ 戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。 ・ 文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現実の中で ・ ものの見方 ・ 働くよろこび 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比喻表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。 ・ 筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。 ・ 筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

1年生で学んだ「現代の国語」「言語文化」の内容を踏まえて、さらに継続して学習します。文化・社会・化学など、さまざまな分野の評論文を読むことで、論理的思考力を養い、実社会において必要とされる国語の能力を身に付けましょう。

教科	公共	単位数	2	学科・学年	2年
使用教科書	高等学校『公共』（教育図書）				
副教材等	高等学校『公共』ワークノート（教育図書）				

◇ 科目の目標 ◇

人間と社会の在り方についての見方・考え方を養い、現代の諸課題を追究する主体的な活動を通して、平和で民主的な国家及び社会をつくる方法をともに考え、自立した主体（大人）となるための資質・能力を身に付ける。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 公共の扉 1 公共と人 2 功利主義と義務論 3 公共と基本原理	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が公共的な存在であるということ、社会に参画する自立した主体（大人）となるためには、まず、対話が重要であるということ、自分の体験を踏まえて考察し、表現する。 ・現実社会で起きている様々な人権問題や差別問題について、その解決方法を考察し、表現する。 ・様々な法が自分の生活にどのように関係しているか、司法制度を真に国民の権利を守るためのものとするために何ができるかを事実に基づいて考察し、表現する。 ・民主的政治体制を構築するために、自分にできることを事実に基づいて考察し表現する。 ・領土・安全保障問題等について、事実に基づいて考察し、自分の考えを表現する。
	第2章 現代社会の諸課題 1 法 2 政治 選挙と政治参加 ・ 公正な世論の形成 国会と内閣 ・ 地方自治 国家主権と領土問題 ・ 安全保障と防衛 21世紀の国際情勢 ・ 国際社会と日本	
後期	3 経済 職業選択 ・ 雇用と労働 労働者の権利 ・ 財政の役割 租税の仕組みと国債 少子化と社会保障 市場経済の役割と限界 金融の働き ・ 日本銀行と金融政策 グローバル化と経済統合 格差是正と多文化主義 第3章 持続可能な社会へ	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用と労働の現状と問題、財政の役割と租税の仕組みについて、まもなく社会人になることを自覚して、考察し表現する。 ・少子化と社会保障問題、市場経済の限界、金融の働きと政策について、まもなく社会人になることを自覚して、考察、表現する。 ・グローバル化、格差是正、多文化主義について、まもなく社会人になることを自覚して、考察し表現する。 ・SDGsについて基本的知識をもち、自分の主体的な行動がその実現につながることを考察し、表現する。 ・より良い地域社会を構築するために、具体的にどのような行動が有効かを考察し、自分の考えを表現する。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、態度、関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) プリント・ワークノートの記載内容

プリントに授業内容を適切にまとめているか、プリントをしっかりとファイリングしているかなどを評価する。

(3) 提出物

課題提出物の取組、内容から評価する。しゅうせい

(4) 定期考査

学習内容に即した問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分が大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

平和的で民主的な社会をつくるために何が必要なのか、みんなで考えていきましょう。そのためには、普段から、新聞やニュース、テレビのドキュメンタリー番組や教養番組に多く接し、見聞きしたことについて友人や家族といっぱい話して、世の中に対するアンテナを広げましょう。それはきっと楽しいことですよ

数学A

教科	数学	単位数	2	学科・学年	ビジネス科 2年生
使用教科書	高校数学A 新訂版				
副教材等	高校サブノート 数学A 新課程版				

◇ 科目の目標 ◇

場合の数と確率、図形の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらの知識や技能を的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めることができるようにします。 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めます。また、確率を事象の考察に活用できるようにします。
後期	第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 第2節 円の性質 第3節 作図 第4節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質を考えるとときの基本的な考え方や図形についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。 様々な図形を学習すると同時に、今後必要となる計算力を付けられるようにします。 演習を行い、幅広い数学的思考力を身に付けます。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

図形の性質を考えるとときの基本的な考え方や図形についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。また様々な図形を学習すると同時に、今後必要となる計算力を付けられるようにします。さらに演習を行い、幅広い数学力を身に付けます。

生物基礎

教科	理科	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・2学年
使用教科書	高校生物基礎（実教出版株式会社）				
副教材等	アクセスノート生物基礎				

◇ 科目の目標 ◇

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容	
前期	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 生物とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性と共通性の視点を身に付け、生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造とはたらきを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解します。 ・生物と遺伝子について、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解し、DNAの情報に基づいてタンパク質が合成される過程を学びます。 	
	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報とタンパク質の合成		
	後期	第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫	<ul style="list-style-type: none"> ・生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識します。 ・ヒトには異物を排除する防御機構がそなわっており、それにかかわる細胞や器官を学びます。
		第4章 生物の多様性と生態系 1節 生態系とその成り立ち 2節 植生とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと植生	

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもあります。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断します。評価の観点のうち、特に【主体的に学習に取り組む態度】の項目を評価します。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価します。

(3) 観察・実験等

観察・実験等を行い、レポートを書きます。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価します。評価の観点のうち、【思考・判断・表現】に関する配分が大きくなります。

(4) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価します。

(5) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題します。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分が大きくなります。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・身近にある自然や科学的な話題(新聞、雑誌、ニュースなど)に関心をもち、考えてみましょう。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもちましょう。
- ・学んだことを記録し、発表する方法を身に付けましょう。

化学基礎

教科	理科	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・2年
使用教科書	化基705 「高校化学基礎」 実教出版				
副教材等	アクセスノート化学基礎 実教出版				

◇ 科目の目標 ◇

主体的に物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

- ・物質とその変化についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	1章 物質の構成 1節 物質の探究	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の分離方法について実験観察を通して理解します。 ・物質を構成している原子について理解します。
	2節 物質の構成粒子	
	2章 物質と化学結合	<ul style="list-style-type: none"> ・化学結合を学習することで粒子間に働く力について理解します。 ・私たちの生活の中で利用されている様々な物質の性質について理解します。
	1節 イオン結合	
	2節 共有結合	
3節 金属結合		
後期	3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> ・物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解し、化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解します。 ・酸と塩基の性質、種類や反応について、また酸化還元反応についても理解します。
	2節 酸と塩基	
	3節 酸化還元反応	
	終章 化学が拓く世界	<ul style="list-style-type: none"> ・化学基礎で学んだ事柄が、日常生活や社会を支えている科学技術と結び付いていることを理解します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価します。

(2) ノート・プリントの記載内容

宿題・課題等の記述、配布プリントの添付、授業内容を適切にまとめているかなどを評価します。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価します。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題します。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きくなります。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- 1 物質とその変化について興味をもち、科学的に探究しようとする態度をもちましょう。
- 2 疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもちましょう。
- 3 学んだことを正確に記録する方法と態度を身に付けましょう。

体育

教科	体育	単位数	2	学科・学年	ビジネス2年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	現代高等保健体育ノート				

◇ 科目の目標 ◇

- ・生涯にわたり運動に親しむことができるようにします。
- ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。
- ・公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	体育の授業について 体づくり運動 集団行動 体育理論	ソフトボール、バスケットボール（男子） バドミントン、ダンス（女子） ダンス、サッカー（女子） 体育理論
後期	体づくり運動 集団行動 体育理論	ダンス（男子） ソフトボール（女子） バドミントン（女子） 体育理論

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

体育という授業は将来の皆さんの健康に大きく役に立つ教科です。
身体を動かすことが好きな子、苦手な子いると思いますが、積極的に活動に参加してくれることを期待しています。

保健

教科	保健体育	単位数	1	学科・学年	ビジネス2年生
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）				

◇ 科目の目標 ◇

- ・個人及び社会生活における健康安全について理解を深めます。
- ・生涯を通して自らの「身体的・精神的健康管理」を考え、改善していくための資質や能力を育成します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 ・妊娠、出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における体の発達や行動面・心理面の特徴を理解します。 ・家族計画の意義と避妊法及び人工妊娠中絶の心身に及ぼす影響を理解します。 ・高齢者の健康課題や総合的対策について理解します。 ・医療保険の仕組みを理解します。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策 ・環境衛生活動のしくみと働き ・食品衛生活動のしくみと働き 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の原因、健康への影響を理解します。 ・環境汚染防止について理解します。 ・食品の安全と私たちの役割について理解します。 ・働くことと健康の相互影響について理解します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

保健の授業は日々の生活に大きくかかわっている内容です。

皆さんの知識が増えるのはもちろん、他の教科とつながりがある教科なので積極的に参加してください。

英語コミュニケーションⅡ

教科	外国語	単位数	3	学科・学年	ビジネス科・2学年
使用教科書	All Aboard! English Communication II (東京書籍)				
副教材等	All Aboard! English Communication IIワークブック (東京書籍)				

◇ 科目の目標 ◇

<p>日常的・社会的な話題について、事前に準備したり、参考資料を活用したりすれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
--

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson 1 A Colorful Island Lesson 2 With the Beatles Lesson 3 Wild Men Lesson 4 Little Hero etc.	世界各地の観光名所や世代を超えて受け継がれている音楽、各国の伝統的な行事について理解を深め、調べ学習を行う。身近な観光名所や音楽について英語で表現する。
後期	Let's Listen 2 Lesson 5 Special Makeup in Kabuki Reading 1 Mujina Lesson 6 Seeds for Future Generations etc.	世界自然遺産や歌舞伎メイク、古典物語や異色の取り組みについて読解し、理解を深める。調べ学習をし、自分でやってみたい活動や身近な伝統文化について英語で表現する。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

<p>●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。</p> <p>(1)授業への取り組み 授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。</p> <p>(2)Performance Test への取り組み 授業内容を基に、自分の意見や考えを表現しているかなどを評価する。</p> <p>(3)教科書・問題集の問題 各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。</p> <p>(4)中間・定期考査 学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。</p>

◇ 担当者からのメッセージ ◇

<p>1年生では、世界各地の名所や歴史的な偉人、日本の興味深い職業や文化、そして最新テクノロジーと幅広いトピックについて英語で学習しました。今年度は、その知識を基に、さらに深く幅広いテーマについて学びます。自分の調べたことを発表する場面も増えます。グループやペアと協力して、英語で考えや意見をわかりやすく表現することを目指しましょう。</p>

総合実践

教科	商業	単位数	2	学科・学年	ビジネス科 2年 マーケティングフィールド
使用教科書					
副教材等	レクチャー&トレーニング 日商リテールマーケティング（販売士）検定試験3級				

◇ 科目の目標 ◇

- ・小売店舗運営の基本的なしくみを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身に付ける。また、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
- ・日商リテールマーケティング検定試験3級合格を目指す。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・小売業の種類 ・マーチャダイジング ・ストアオペレーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習と目標、評価方法等を確認します。 ・経済における小売業者の基本的な役割等を学習します。 ・小売業の運営業務について学習します。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング ・各務原市の小売業について 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業におけるマーケティング活動について学習します。 ・各務原市内の小売業についての調べ学習や、実際に小売業を営んでいる企業の方から講話を聞きます。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

コンビニエンスストアやスーパーマーケットなど、身近な企業(小売業者)に関わるマーケティングの基礎知識について学習します。また、小売店の店舗設計や店舗での業務等についても学びます。マーケティングに関する知識・技術を高め、日常生活の中から学びを深めましょう。

マーケティング

教科	商業	単位数	4	学科・学年	ビジネス科 2年生（マーケティング）
使用教科書	マーケティング 新訂版（実教出版）				
副教材等	マーケティング 新訂版 問題集（実教出版）・全商商業経済検定模擬試験問題集1・2級				

◇ 科目の目標 ◇

- ・ マーケティングに関する知識と技術を習得させ、マーケティング活動を計画的、合理的に行う能力と態度を習得する。
- ・ マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- ・ 2月実施の商業経済検定1・2級（マーケティング）、日商リテール」マーケティング検定3級合格を目指す。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 現代市場とマーケティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次で学んだビジネス基礎の基本的な内容をもとにマーケティングに関する基礎的な知識や技術を学習します。 ・ 顧客についての理解、市場の動向、マーケティングに関する理論、データ分析、成功事例や改善を要する事例などを学ぶことで、創造的に解決する力を身に付けます。 ・ 販売計画、製品計画や仕入計画を通して、マーケティングに関する課題を発見し、問題解決のためのプロセスを学習します。
	第2章 市場調査	
	第3章 消費者行動	
	第4章 販売計画	
	第5章 製品計画	
	第6章 仕入計画と商品管理	
後期	第7章 販売価格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場調査から販売促進に至るまでの、一連のマーケティング活動の流れについて関連付け、ビジネスの様々な場面で役に立つマーケティングに関する知識や技術を習得します。
	第8章 販売経路	
	第9章 販売促進	

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

マーケティングの学習を通して、ビジネス科として職業人として必要な豊かな人間性や他者とのコミュニケーションについての必要性を具体的に学ぶことができます。市場調査の実施と情報の分析、製品政策、価格政策、チャネル政策、プロモーション政策の企画と実施などに責任をもって取り組むことで、3年次の課題研究に活かすことができます。

また、2月の全商商業経済検定1・2級（マーケティング）、日商リテールマーケティング検定3級合格を目指します。

商品開発と流通

教科	商業	単位数	4	学科・学年	ビジネス科 2年 マーケティングフィールド
使用教科書	商品開発と流通 (実教出版)				
副教材等	商品開発と流通 (実教出版)				

◇ 科目の目標 ◇

- ・ 商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ・ 商品開発と流通に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- ・ ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して、自ら学び商品開発と流通に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 商品開発と流通の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の成り立ちおよびその捉え方について学習する。 ・ 環境分析に基づいて、市場調査を行い、そこから商品の企画に関する課題を発見する。 ・ 商品開発を進めるうえで必要な事業計画の立案をする技術を身に付ける。
	第2章 商品の企画	
	第3章 事業計画の立案	
後期	第4章 商品の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品開発を進めるうえで、必要な商品仕様や詳細設計の立案をする技術を学習する。 ・ 市場調査を行い、そこから商品販売課題に関する課題を発見する。 ・ 商品開発を進めるうえでクラウドソーシングを活用した商品開発やクラウドファンディングを利用した資金集め、ソーシャルメディアを活用する技術を学習する。
	第5章 商品の販売	
	第6章 商品開発と流通に関わる新たな問題	

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。(休日等に販売実習を実施することがあります。)

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

教科書や問題集を有意義に活用し、商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、商品開発と流通の動向や課題を発見するとともにビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり、提案したりしよう。

簿記【マーケティング】

教科	商業	単位数	3	学科・学年	ビジネス科2年 マーケ
使用教科書	新簿記 新訂版 (実教出版)				
副教材等	完全段階式標準検定簿記問題集全商2級 (東京法令出版) 全商簿記実務検定模擬試験問題集2級【新検定対応】(実教出版)				

◇ 科目の目標 ◇

- ・簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と知識を習得します。
- ・1月実施の全商簿記実務検定試験2級合格を目指します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現金・預金などの取引 ・掛け取引・手形の取引 ・固定資産の取引 ・個人企業の資本の取引 	現金・預金、掛け取引・手形取引などの各項目の内容や商品売買の記帳などについて学習します。 会計期間のまとめとなる決算整理、財務諸表を作成するための手続きを学習します。 個人企業の資本の取引について学習します。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・決算整理 (その1) ・財務諸表の作成 ・特殊な手形の取引 ・有価証券の取引 ・本支店会計 ・決算整理 (その2) ・株式会社の取引と財務諸表 	決算整理の意味について学び、財務諸表を作成するための8桁精算表を作成する方法について学習します。 本支店会計における決算整理について学び、企業会計上で必要となる知識や、財務諸表を適切に作成する能力を身に付けます。 1月に全商簿記実務検定2級を受験します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・1年次に学習した簿記の継続した学びです。3級では個人企業における簿記が中心でしたが、2級では株式会社の取引や本支店会計について学習し財務諸表を作成する技術を身に付けます。
- ・問題集や各章末の小テストを有意義に活用し、全商簿記検定2級の資格取得合格を目指します。

情報処理

教科	商業	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・2年生（マーケティング）
使用教科書	情報処理（実教出版）				
副教材等	情報処検定模擬問題集2級（実教出版）・全商ビジネス文書実務検定模擬問題集1級				

◇ 科目の目標 ◇

- (1) 企業において情報を適切に扱うために必要な資質や能力を育成します。考察や討論を行う学習活動を通して、情報を扱う者としての役割と責任について理解を深めます。
- (2) グローバル化の進展、情報技術の進歩を踏まえ、企業や実社会において情報を扱う具体的な場面を想定した実習を行う中で、情報を適切に扱うことができる専門的能力を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	1 情報の集計と分析（2）	<ul style="list-style-type: none"> マルチシートを利用した進んだ関数を学び、目的に応じた表を作成する能力を身に付けます。 データの整理や分類、整列や必要なデータの検索、抽出方法に関する技術を身に付けます。 複合的な条件に合わせたグラフを作成する知識・技能を身に付けます。
後期	2 ビジネス文書の作成 3 問題の発見と解決の方法	<ul style="list-style-type: none"> 表計算や画像を含んだ応用的な文書や表現力に富んだ報告書、提案書等の作成方法を身に付けます。 企業活動を継続して改善していくにあたり、問題の発見やその解決へのプロセスを学習します。問題解決のための情報収集や、問題整理の思考方法や手法、分析方法について学びます。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

「情報処理」は1年生の時に学習しました。すでに身に付けた知識・技能を活かし、さらに進んだ内容を学習します。ビジネスに関する情報を収集・処理・分析して表現するまでの一連の活動だけにとどまらず、情報技術の進歩に対応した情報セキュリティの確保や個人情報・知的財産の保護などにも留意して、ビジネスの諸活動において必要な資質や能力を培うことを目標とします。

全商情報処理検定ビジネス情報部門2級合格、全商ビジネス文書検定2級・1級合格を目指します。

総合実践

教科	商業	単位数	2	学科・学年	ビジネス科 2年 アカウントティングフィールド
使用教科書	なし				
副教材等	全商簿記実務検定模擬試験問題集、全商ビジネス計算実務検定模擬試験問題集				

◇ 科目の目標 ◇

- ・簿記・財務会計Ⅰ・原価計算などの会計分野、及びビジネス計算に関する基本的事項を理解し、問題演習を通じて豊富な知識と技術を習得します。
- ・これらの学習を通じて、検定試験など、目標に向かって自発的に学習に取り組む態度を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・簿記に関する問題演習 ・財務会計Ⅰに関する問題演習 ・原価計算に関する問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習と目標、評価方法等を確認します。 ・「簿記」、「財務会計」「原価計算」の問題演習を通して、正確に計算・記帳できる技術や判断力などを身に付けます。 ・問題演習に進んで取り組む意欲を高めます。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス計算に関する問題演習 ・財務会計Ⅰに関する問題演習 ・原価計算に関する問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・電卓による普通計算、およびビジネス計算を速く正確に行えるように、時間を計測して問題演習に取り組みます。 ・各種の問題演習を通じて、検定合格を目指します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。より高い資格取得に挑戦しようとする態度と、自ら努力する姿勢は、高く評価される。

(2) 小テスト(確認テスト)や検定試験の成績

授業の中で行う単元ごとの確認テストや検定試験の成績などで評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する評価が主となる。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

検定合格などの目標に向かって、自ら意欲的に学習に取り組めること、仲間と協調しながら学習に取り組めることを目指しています。全商簿記実務検定1級や全商ビジネス計算実務検定1級を取得できるように、多くの問題をこなし、家庭学習も習慣にすることが大切です。

簿記【アカウンティング】

教科	商業	単位数	3	学科・学年	ビジネス科・2年アカウンティング
使用教科書	新簿記 新訂版 (実教出版)				
副教材等	標準検定簿記問題集全商2級 (東京法令出版) 全商簿記実務検定模擬問題集2級 (実教出版)				

◇ 科目の目標 ◇

- ・簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と知識を習得します。
- ・6月実施の全商簿記2級、1月実施の全商簿記検定1級(会計)合格を目指します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第24章 決算整理(その2)	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生で学んだ基礎的内容の応用です。個人商店会計です。会計期間のまとめとなる決算整理、財務諸表の作成ができるように学習します。 ・6月に全商簿記2級に受験し、その後は、株式会社会計について学習します。
	第25章 財務諸表の作成	
	第26章 特殊な商品売上の取引	
	第27章 特殊な手形の取引	
後期	第28章 仕訳帳の分割	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社の取引や、決算、本支店会計などを学びます。 ・企業会計上で必要となる知識や、財務諸表を分析するための基礎を学びます。 ・1月に全商簿記2級を受験します。
	第29章 5伝票による記帳	
	第30章 本支店の取引	
	第31章 本支店の財務諸表の合併	
	第32章 株式会社の取引(その1)	
第33章 株式会社の取引(その2)		

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

1年生で学んだ簿記の継続した学びです。個人商店の簿記から株式会社の会計へと学びを広げていきます。高い意識をもって取り組んでください。教科書や問題集を有意義に活用し、高度な資格取得に向けて頑張りましょう。

財務会計Ⅰ【アカウンティング】

教科	商業	単位数	4	学科・学年	ビジネス科2年 アカウンティング
使用教科書	新財務会計Ⅰ（実教出版）				
副教材等	標準検定簿記問題集全商2級（東京法令出版） 全商簿記実務検定模擬問題集2級（実教出版）				

◇ 科目の目標 ◇

- ・財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を養います。
- ・6月実施の全商簿記2級、1月実施の全商簿記検定1級（会計）合格を目指します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計の基礎 ・貸借対照表（資産・負債・純資産） ・損益計算書（費用・収益） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生で学んだ基礎的内容の応用です。株式会社の会計処理ができるように学びます。 ・会計期間のまとめとなる決算整理、財務諸表の作成ができるように学習します。 ・6月に全商簿記2級に受験します。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表の活用 ・連結財務諸表 検定対策 ・総合演習 検定対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業会計上で必要となる知識や、財務諸表を分析するための基礎を学びます。 ・株式会社の合併や連結について学びます。 ・1月に全商簿記1級を受験します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

1年生で学んだ簿記の継続した学びです。個人商店の簿記から株式会社の会計へと学びを広げていきます。高い意識をもって取り組んでください。教科書や問題集を有意義に活用し、高度な資格取得に向けて頑張りましょう。3年生には、日商2級を取得できるようにしていきます。継続は力なり。

原価計算【アカウンティング】

教科	商業	単位数	4	学科・学年	ビジネス科・2年 アカウンティング
使用教科書	原価計算 新訂版 (実教出版)				
副教材等	標準検定簿記問題集全商1級原価計算 (東京法令出版) 全商簿記実務検定模擬問題集1級原価計算 (実教出版)				

◇ 科目の目標 ◇

- ・ 製造業における原価計算及び簿記に関する基本的な知識と技術を習得させ、原価について理解させるとともに、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を養います。
- ・ 1月実施の全商簿記検定1級(原価計算)合格を目指します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原価計算の基礎 ・ 材料費・労務費・経費の計算 ・ 個別原価計算 ・ 部門別個別原価計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原価計算の基礎から学びます。1年生の簿記の学習内容が理解できていることが前提です。 ・ 仕訳や勘定記入、各種計算、さまざまな計算のための表の作成などができるように、問題演習を繰り返します。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合原価計算 ・ 決算と本社・工場間の取引 ・ 標準原価計算 ・ 直接原価計算 検定対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな原価計算の特徴と記帳方法を学びます。 ・ 製造原価報告書や損益計算書の作成などについて学びます。 ・ 標準原価計算や直接原価計算の目的や記帳法、図を活用した計算方法などについて学びます。 ・ 1月に全商簿記1級を受験します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

1年生で学んだ簿記の継続した学びです。工業簿記の内容となり、計算や勘定の振替が多く出てきます。また、個人商店の商業簿記の知識がベースとなります。高い意識をもって取り組んでください。教科書や問題集を有意義に活用し、高度な資格取得に向けて頑張りましょう。3年生には、日商2級を取得できるようにしていきます。継続は力なり。

情報処理

教科	商業	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・2年生（アカウント）
使用教科書	情報処理（実教出版）				
副教材等	情報処検定模擬問題集2級（実教出版）・全商ビジネス文書実務検定模擬問題集1級				

◇ 科目の目標 ◇

- (1) 企業において情報を適切に扱うために必要な資質や能力を育成します。考察や討論を行う学習活動を通して、情報を扱う者としての役割と責任について理解を深めます。
- (2) グローバル化の進展、情報技術の進歩を踏まえ、企業や実社会において情報を扱う具体的な場面を想定した実習を行う中で、情報を適切に扱うことができる専門的能力を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	1 情報の集計と分析（2）	<ul style="list-style-type: none"> マルチシートを利用した進んだ関数を学び、目的に応じた表を作成する能力を身に付けます。 データの整理や分類、整列や必要なデータの検索、抽出方法に関する技術を身に付けます。 複合的な条件に合わせたグラフを作成する知識・技能を身に付けます。
後期	2 ビジネス文書の作成 3 問題の発見と解決の方法	<ul style="list-style-type: none"> 表計算や画像を含んだ応用的な文書や表現力に富んだ報告書、提案書等の作成方法を身に付けます。 企業活動を継続して改善していくにあたり、問題の発見やその解決へのプロセスを学習します。問題解決のための情報収集や、問題整理の思考方法や手法、分析方法について学びます。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

「情報処理」は1年生の時に学習しました。すでに身に付けた知識・技能を活かし、さらに進んだ内容を学習します。ビジネスに関する情報を収集・処理・分析して表現するまでの一連の活動だけにとどまらず、情報技術の進歩に対応した情報セキュリティの確保や個人情報・知的財産の保護などにも留意して、ビジネスの諸活動において必要な資質や能力を培うことを目標とします。

全商情報処理検定ビジネス情報部門2級合格、全商ビジネス文書検定2級・1級合格を目指します。

総合実践

教科	商業	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・2年
使用教科書	なし				
副教材等	総合実践 同時同業法を中心として (実教出版) 情報処理検定試験模擬問題集プログラミング部門2級 (実教出版)				

◇ 科目の目標 ◇

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ、経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	流れ図の基礎 ・基本理論 ・アルゴリズムとプログラミング 流れ図の応用 順次・選択・繰り返し 基本的なアルゴリズム ・データ集計・件数の処理 ・最大値・最小値 ・多分岐 ・トレース	・プログラミングとは何か学習をします。 ・プログラミング (VBA) の基本的な手順について学習をします。 ・流れ図について (順次・選択・繰り返し) について学習をします。 ・データの集計や平均の処理の手順を学習・実習をします。 ・最大値や最小値の処理の手順を学習・実習をします。 ・多分岐についての手順を学習・実習をします。 ・全商情報処理検定プログラミング部門2級に合格できる力をつけられるよう学習をします。
後期	・基本的なアルゴリズム ・配列の利用 ・線形探索 ・プログラミングの関連知識 ・オリジナルプログラムの作成 ・オリジナルプログラムの発表	・配列を利用したアルゴリズムについて学習・実習をします。 ・線形探索を利用した学習・実習をします。プログラミングを行う際に必要な知識について学習をします。 ・身に付けた知識・技術を取り入れ、オリジナルプログラムを作成し発表する。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・プログラミングの知識・技術を身に付けることができます。
- ・全商情報処理検定1・2級などの資格取得をすることができます。

簿記【アドミニストレータ】

教科	商業	単位数	3	学科・学年	ビジネス科・2年 アドミニ
使用教科書	新簿記 新訂版 (実教出版)				
副教材等	完全段階式標準検定簿記問題集全商2級 (東京法令出版) 全商簿記実務検定模擬試験問題集2級【新検定対応】 (実教出版)				

◇ 科目の目標 ◇

- ・簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに適正な会計処理を行う能力と知識を習得します。
- ・1月実施の全商簿記実務検定試験2級合格を目指します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現金・預金などの取引 ・掛け取引・手形の取引 ・固定資産の取引 ・個人企業の資本の取引 	<ul style="list-style-type: none"> ・現金・預金、掛け取引・手形取引などの各項目の内容や商品売買の記帳などについて学習します。 ・会計期間のまとめとなる決算整理、財務諸表を作成するための手続きを学習します。 ・個人企業の資本の取引について学習します。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・決算整理 (その1) ・財務諸表の作成 ・特殊な手形の取引 ・有価証券の取引 ・本支店会計 ・決算整理 (その2) ・株式会社の取引と財務諸表 	<ul style="list-style-type: none"> ・決算整理の意味について学び、財務諸表を作成するための8桁精算表を作成する方法について学習します。 ・本支店会計における決算整理について学び、企業会計上で必要となる知識や、財務諸表を適切に作成する能力を身に付けます。 ・1月に全商簿記実務検定2級を受験します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・1年次に学習した簿記の継続した学びです。3級では個人企業における簿記が中心でしたが、2級では株式会社の取引や本支店会計について学習し財務諸表を作成する技術を身に付けます。
- ・問題集や各章末の小テストを有意義に活用し、全商簿記検定2級の資格取得合格を目指します。

情報処理

教科	商業	単位数	2	学科・学年	ビジネス科 2年生 アドミニストレータフィールド
使用教科書	実教出版 情報処理				
副教材等	実教出版 情報処理検定模擬問題集ビジネス情報部門2級、1級				

◇ 科目の目標 ◇

- ・企業における情報の管理と活用に関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、情報を扱う者としての役割と責任について理解を深める。
- ・情報技術の進歩を常に念頭に置き、表現の方法や伝え方などの工夫について考察や討論ができる学習活動を行う。また、企業において情報を扱う具体的な場面を想定した実習を通して、情報を適切に扱うことができる力を身に付ける。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第3章 情報の集計と分析	表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析
後期	第4章 ビジネス文書の作成 第5章 プレゼンテーション	表計算やグラフを含んだ応用的な文書や表現力に富んだ報告書や提案書などの作成方法

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

1年次で学習した情報処理を基礎として、さらに高度なソフトウェア利用技術を習得することで、適切なデータ処理の方法を学習し、論理的思考力や課題解決能力を高めましょう。

ソフトウェア活用

教科	商業	単位数	4	学科・学年	ビジネス科 2年生 アドミニストレータフィールド
使用教科書	実教出版 ソフトウェア活用				
副教材等	実教出版 情報処理検定模擬問題集ビジネス情報部門2級、1級				

◇ 科目の目標 ◇

- ・情報技術が進歩する現代社会において、ソフトウェアの効果的な活用が企業活動に大きな影響を及ぼすことを学習活動を通して実感し、情報を扱う者としての役割と責任について理解を深め、ソフトウェアの効果的な活用に関する知識と技術を身に付ける。
- ・ソフトウェアを活用して有用な情報を導き出す場面を想定し、実習を通して様々なソフトウェアを効果的に使用し、情報を適切に扱うことができる力を身に付ける。
- ・ビジネス社会でのものの見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 企業活動とソフトウェアの活用 第2章 情報通信ネットワークの活用 第3章 表計算ソフトウェアの活用	表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析
後期	第4章 データベースソフトウェアの活用 第5章 業務処理用ソフトウェアの活用 第6章 情報システムの開発	データベースソフトウェアを活用するための知識と技術

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

1年次で学習した情報処理を基礎として、それぞれのソフトウェアがもつ特徴を理解し、適切なデータ処理の方法を学習することで、論理的思考力や課題解決能力を高めましょう。

プログラミング

教科	商業	単位数	4	学科・学年	ビジネス科 2年生 アドミニストレータフィールド
使用教科書	プログラミング (東京法令出版)				
副教材等	全商情報処理検定テキスト1・2級プログラミング部門 (実教出版) 全商情報処理検定模擬試験問題集プログラミング部門1・2級 (東京法令出版)				

◇ 科目の目標 ◇

- (1) プログラムと情報システムの開発について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- (2) 企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けます。
- (3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの重要性 ・ハードウェアとソフトウェア ・アルゴリズムの表現技法とデータ構造 ・手続き型言語のプログラミング ・全商情報処理検定プログラミング部門 2級対策 問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの概要や、プログラムの役割、プログラミングを学ぶ意義について学習します。 ・コンピュータの基本的な構成について学習します。 ・アルゴリズムとは何か、学習します。 ・実習課題を通して、創造性や論理的な思考力をさらに深めます。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムと情報システムの開発 ・手続き型言語を用いた情報システムの開発 ・オブジェクト指向型言語のプログラミング ・全商情報処理検定プログラミング部門 1級対策 問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望を正しく把握したうえで、それを反映する情報システムを開発する方法について学習します。 ・これまで学習してきたアルゴリズム、ユーザフォーム、システム開発などの知識を活かして、売上集計システムを開発します。 ・携帯型情報通信機器 (スマートフォンなど) のアプリケーションソフトウェアについて学習します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) 実習課題の取り組み

課題への取り組み姿勢と提出された成果物によって評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

プログラミングを通して論理的思考力や課題解決能力を高めましょう。実習問題に取り組み、アルゴリズムを考えることによってそれらの力が伸びます。また、目標取得資格として全商情報処理検定プログラミング部門1級・2級を受験します。